

乙 第 号

原田 泉美 学位請求論文

審 査 要 旨

奈 良 県 立 医 科 大 学

論文審査の要旨及び担当者

	委員長	教授	今村 知明
論文審査担当者	委員	教授	飯田 順三
	委員(指導教員)	教授	岸本 年史

主論文

当院のリワークプログラム参加者における復職に関連する因子の検討

原田泉美、松田康裕、盛本翼、上田淳哉、山内孝之、永野龍司、井上慶一、
大塚紀朗、岸本年史

精神科 37 卷 3 号 Page320-330(2020.09)

論文審査の要旨

本研究はリワークプログラム参加者を後の就労状況で復職群と非復職群に分け、職場への復帰に関する因子について後方視的に検討を行ったもので、復職準備性評価シートのうち3項目において両群で有意な違いを認めた。これら項目の改善が早期の職場への復帰につながる可能性が示唆された。

公聴会では、傾向スコアマッチングを用いた分析が適切かとの問いに対し、バイアスを是正することができるメリットについて説明がされた。海外の復職支援の状況やこの結果を踏まえ今後リワークプログラムをどのように改訂していくべきかについても具体的に返答されていた。また、臨床現場での活用方法などについても質疑が行われた。

本研究の結果は極めて有用なものであり、今後本領域のさらなる発展に寄与するものと評価され、公聴会における質疑も適切であり参考論文と合わせて学位を授与するに相応しい研究と考える。

参 考 論 文

1. 双極性障害における認知機能障害

原田泉美、太田豊作、岸本年史

最新精神医学 23 卷 5 号 Page459-466(2018.09)

2. Lithium carbonate as a treatment for paliperidone extended-release-induced leukopenia and neutropenia in a patient with schizoaffective disorder; a case report.

Matsuura H, Kimoto S, Harada I, Naemura S, Yamamuro K, Kishimoto T

BMC Psychiatry.2016 May 26;16:161

以上、主論文に報告された研究成績は、参考論文とともに精神医学行動神経科学の進歩に寄与するところが大きいと認める。

令和2年12月8日

学位審査委員長

公衆衛生学

教授 今村 知明

学位審査委員

精神医学行動神経科学

教授 飯田 順三

学位審査委員(指導教員)

精神医学行動神経科学

教授 岸本 年史